

# 「WebConnect」と「表示専用 IPtalk」について

200820b

2020年5月16日に公開した「PacketiXを使ったIPtalk 遠隔入力の方法」には、非常に多くの方から反響をいただきました。試してみて簡単にできたという情報を大勢の方からいただいています。実際に、公的派遣で遠隔入力を試行している地域もあるようです。しかし、利用者が在宅で Zoom 会議に参加する時に、簡単に字幕を見ることができる機能が欲しいという要望をいただいていた。

そこで、IPtalk の字幕をブラウザで見ることができる「WebConnect」を作りました。

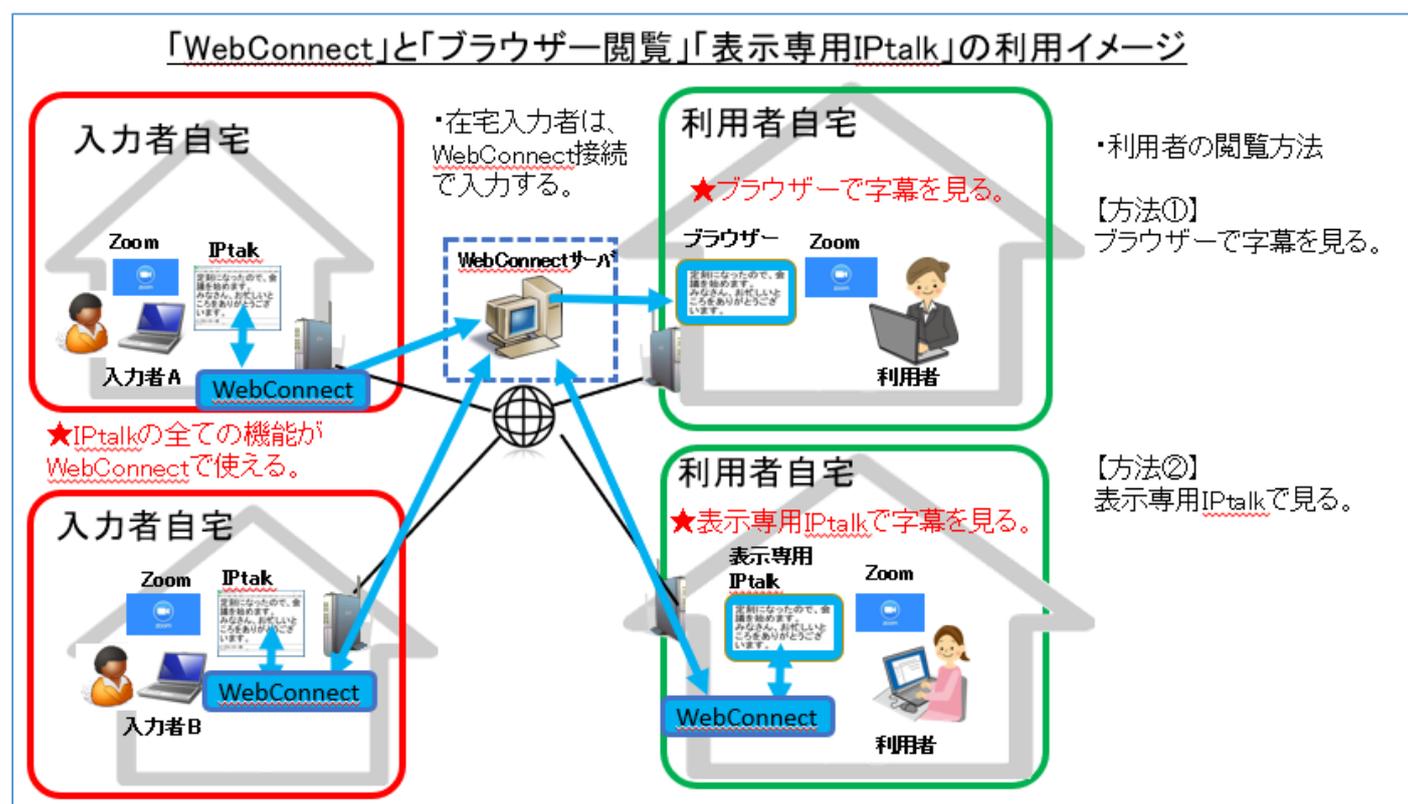
「WebConnect」を使うと IPtalk は、「VPN なし」でインターネット通信ができます。そこで、利用者が起動するだけで、Zoom 会議の字幕を閲覧できる「表示専用 IPtalk」も作りました。

## 【「WebConnect」の概要】

・IPtalk の「WebConnect」ウィンドウは、日種さんが作成したフリーソフトです。

日種さんが所有する「WebConnect サーバー」を使って IPtalk のインターネット通信とブラウザ閲覧を実現します。

「WebConnect サーバー」は、事前のユーザー登録が不要で、IPtalk を起動するだけで、すぐに利用できます。



・「WebConnect」は、**利便性重視**で設計しています。セキュリティーが気になる場合は VPN を検討してください。→[こちら](#)

## 【「WebConnect」に関する免責】（IPtalk 本体の免責と同じです。）

・このソフト、及び、サーバーは、無保証です。

・このソフト、及び、サーバーを使う事によって、あるいは使えなかった事によって発生した損害について責任を負いません。

## 【目次】

### 1) 利用者が字幕を見る方法

#### 1-1) ブラウザーで見る方法

##### 1-1-1) ブラウザーで見る方法(パソコン編)

##### 1-1-2) ブラウザーで見る方法(スマホ編)

#### 1-2) 「表示専用 IPtalk」で見る方法

##### 1-2-1) 「表示専用 IPtalk」で見る (WebConnect接続)

##### 1-2-2) 「表示専用IPtalk」で見る (VPN接続)

### 2) 入力者が、ブラウザーで閲覧する利用者に伝える情報とは

### 3) 「WebConnect」ウィンドウの使い方 (入力者用)

### 4) 補足説明

#### 4-1) ブリッジ機能について

#### 4-2) 「WebConnect」通信と「ブリッジ機能」の一覧

#### 4-3) 「表示専用IPtalk」の表示設定の初期値

#### 4-4) 「VPN 接続」と「ブラウザー閲覧」「表示専用 IPtalk」の利用イメージ

### 5) 「表示専用 IPtalk」のダウンロードの方法

[【目次に戻る】](#)

1) 利用者が字幕を見る方法

[1-1\)ブラウザで見る方法](#)

[1-2\)「表示専用 IPtalk」で見る方法](#)

[【目次に戻る】](#)

1-1)ブラウザで見る方法

[1-1-1\)ブラウザで見る方法\(パソコン編\)](#)

[1-1-2\)ブラウザで見る方法\(スマホ編\)](#)

[【目次に戻る】](#) [【1\)利用者が字幕を見る方法】](#) [【1-1\)ブラウザで見る方法】](#)

1-1-1)ブラウザで見る方法(パソコン編)

200812

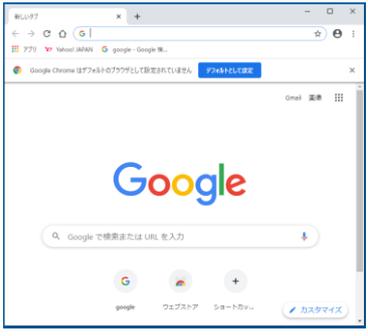
## ブラウザで見る方法 (パソコン編)

・最初に、一番、基本的な使い方を説明します。パソコンで見える場合です。

**【注意】**

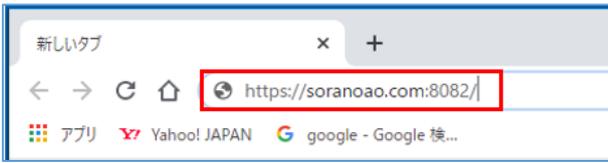
ブラウザは、Google Chrome(グーグルクローム)、Firefox(ファイヤーフォックス)、Microsoft Edge(マイクロソフト エッジ)、Safari(サファリ)などで閲覧することができます。

古いブラウザ、Internet Explorer(インターネットエクスプローラー)は使用できないことに注意してください。

| No | 操作  | 反応   |
|----|---|--|
| 1  | <b>【事前準備】</b><br>①入力者から「パスワード(利用者)」をメールなどで教えてもらいます。           | ①「パスワード(利用者)」が「1234567」だったとします。<br><br><b>【ヒント】</b> 「パスワード付き URL」をメールしてもらうなど、便利な方法は、他にあるのですが、ここでは一番基本的な方法を説明します。 |
| 2  | <b>【接続方法】</b><br>①ブラウザを起動します。<br>(図は、Google Chrome を例にしています。) | ①ブラウザが起動します。<br>             |

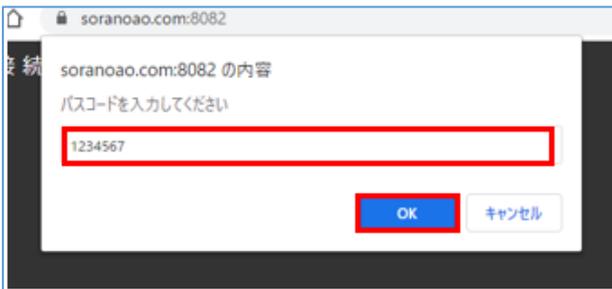
②「アドレスバー」に以下のように入力し Enter します。

「<https://soranoao.com:8082/>」



【ヒント】ブックマークしておくの良いと思います。

③「パスワード」枠に教えてもらったパスワードを入力して、「OK」ボタンを押します。



【ヒント】

「待機中」と表示された時は入力者が準備中です。

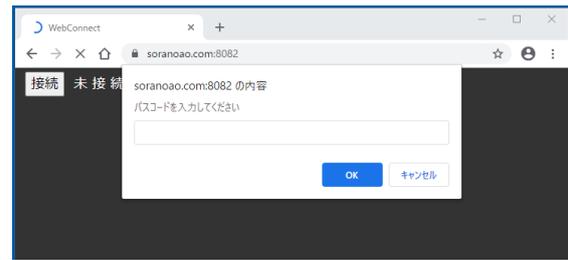


入力した「パスワード(利用者)」が間違えている時も「待機中」になります。

「待機中」と出たら、念のため、Zoom で入力者に準備中か問合せると良いと思います。

②「WebConnect」のページが開きます。

「パスワードを入力してください。」ウィンドウが出ます。

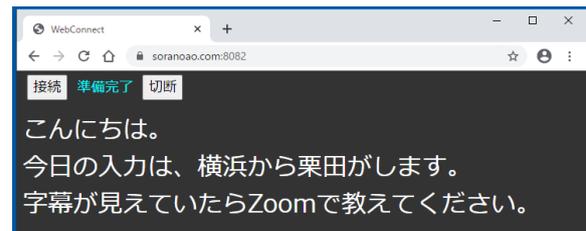


③「パスワード入力」のウィンドウが消えて、「準備完了」と表示されます。



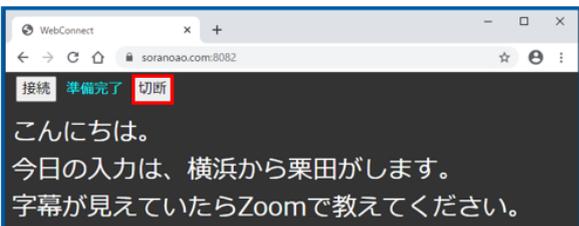
★これで準備完了です。

・入力者が入力すると表示されます。

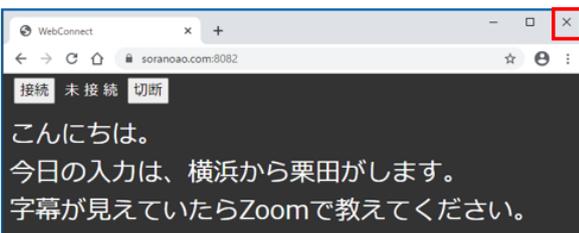


### 3 【切断方法】

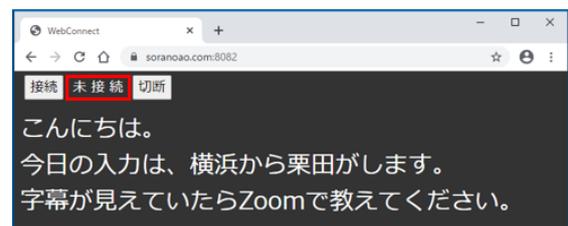
①「切断」ボタンを押します。



②「×」でブラウザを終了します。



①「準備完了」が「未接続」に変わります。



②おわりです。

【ヒント】

「接続中」のまま「×」で閉じてしまっても問題ありません。

おわり

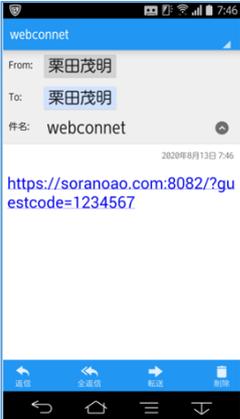
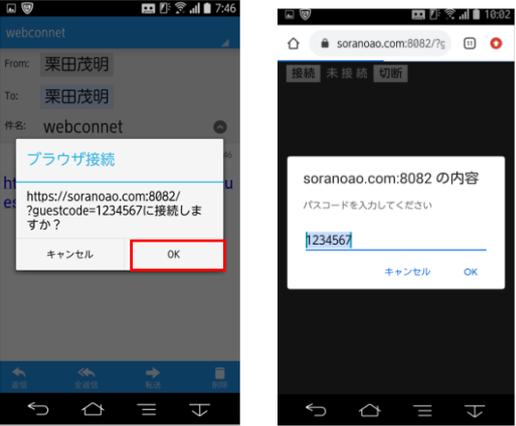
## ブラウザーで見る方法（スマホ編）

・スマホを使って字幕を見る方法を説明します。

### 【注意】

ブラウザーは、Google Chrome(グーグルクローム)、Firefox(ファイヤーフォックス)、Safari(サファリ)などで閲覧することができます。

古いブラウザー、Internet Explorer(インターネットエクスプローラー)は使用できないことに注意してください。

| No | 操作   | 反応   |
|----|--|--|
| 1  | <p><b>【事前準備】</b></p> <p>①入力者から「パスコード付き URL」をスマホにメールしてもらいます。</p>  | <p>①メールに「パスコード付き URL」が届きます。</p>   |
| 2  | <p><b>【接続方法】</b></p> <p>①「パスコード付き URL」をタップします。</p>  | <p>①ブラウザーが起動して、ブラウザー接続の確認メッセージが出るので「OK」をタップすると、「WebConnect」のページが開きます。</p>  |

②「パスコード」が自動的に入力されているので、「OK」ボタンを押します。



【ヒント】

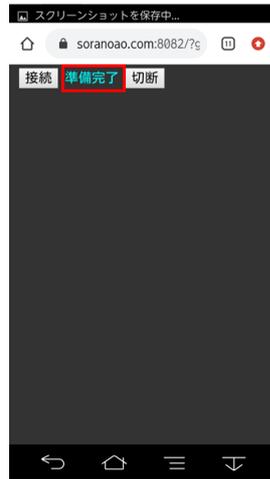
「待機中」と表示された時は入力者が準備中です。



入力した「パスコード(利用者)」が間違えている時も「待機中」になります。

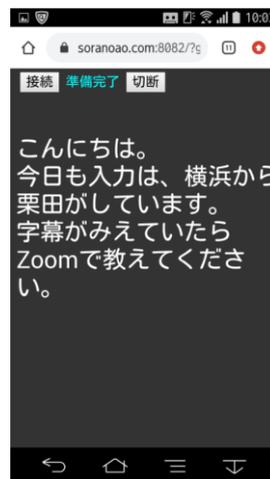
「待機中」と出たら、念のため、Zoom で入力者に準備中か問合せると良いと思います。

②「未接続」が「接続完了」に変わります。



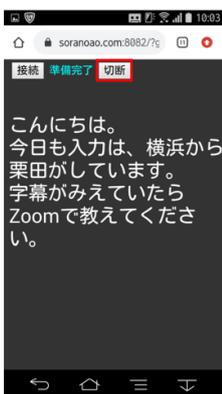
★これで準備完了です。

・入力者が入力すると表示されます。



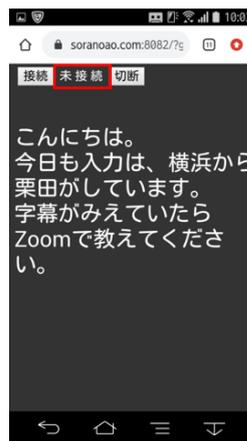
3 【切断方法】

①「切断」ボタンを押します。



②ブラウザを終了します。

①「接続中」が「未接続」に変わります。



②おわりです。

【ヒント】

「接続中」のまま「ブラウザ」を閉じてしまっても問題ありません。

おわり

## [【目次に戻る】](#) [【\(1\)利用者が字幕を見る方法】](#)

### 1-2)「表示専用 IPtalk」で見える方法

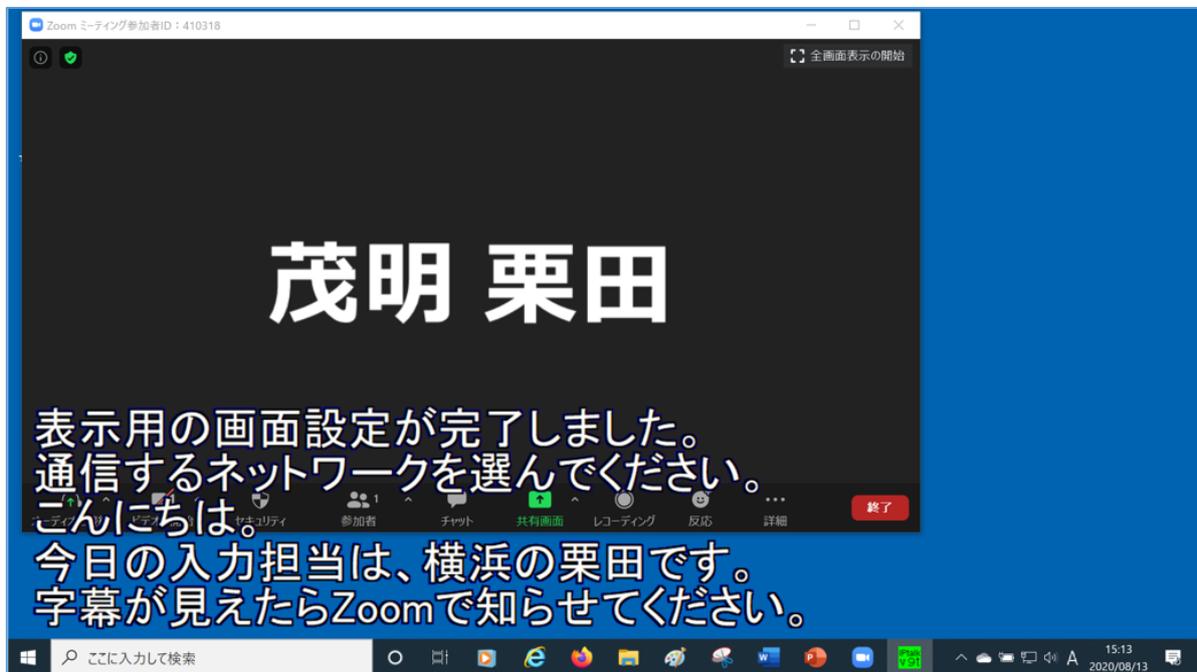
[1-2-1\)「表示専用 IPtalk」で見える \(WebConnect接続\)](#)

[1-2-2\)「表示専用IPtalk」で見える \(VPN接続\)](#)

200812

## 「表示専用 IPtalk」で見える方法

- ・「表示専用 IPtalk」は、Zoom 会議の字幕用に作りました。  
字幕背景が透明なので、Zoom 画面に重ねて字幕を配置できます。
- ・Windows パソコン専用です。スマホやタブレットでは動きません。



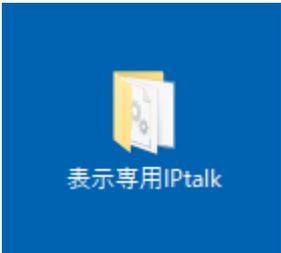
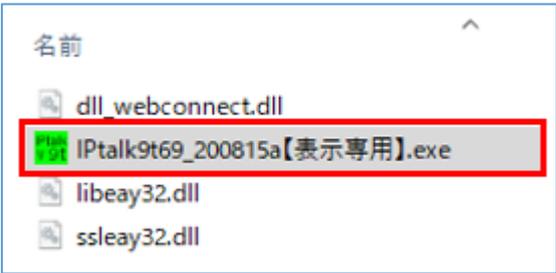
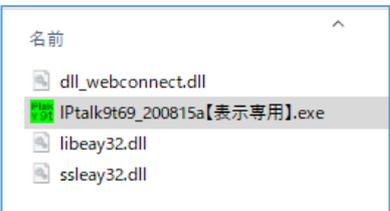
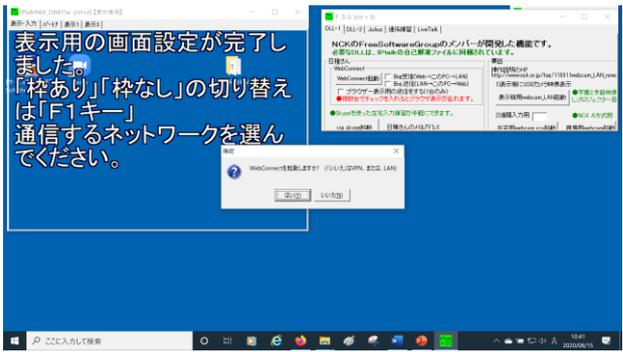
### 【インストール】

- ・「IPtalk【表示専用】」フォルダーをデスクトップにコピーします。(ダウンロードして展開します。)→[方法はこちら](#)
- ・パソコンの操作に自信の無い人は、入力者に「IPtalk【表示専用】」フォルダーを作ってもらおうと良いと思います。  
「WebConnect」を使う IPtalk 入力者は、「IPtalk【表示専用】」フォルダーを必ず持っています。

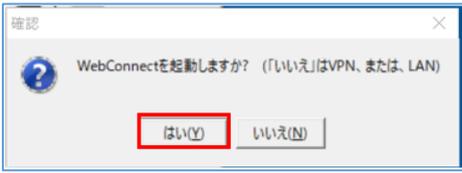
## 「表示専用 IPtalk」で見る (WebConnet 接続)

200812

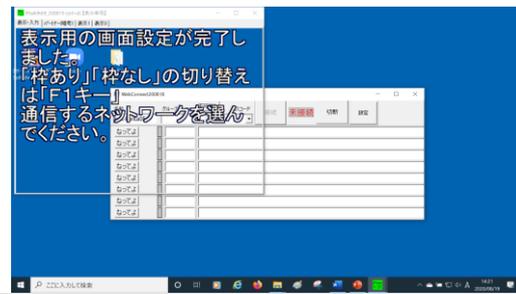
・IPtalk のフォルダーは、デスクトップに置いてください。

| No | 操作  | 反応   |
|----|---|--|
| 1  | <p><b>【事前準備】</b></p> <p>①事前に、入力者から、当日の「グループ名」と「パスワード(入力者)」を教えてください。</p>   | <p>①次の「グループ名」と「パスワード(入力者)」を例にして説明します。</p> <p>「グループ名」 →「<b>在宅入力班</b>」<br/>                     「パスワード(入力者)」→「<b>遠隔入力テスト</b>」</p>  |
| 2  | <p><b>【起動】</b></p> <p>①デスクトップの「表示専用 IPtalk」のフォルダーを開きます。</p>  <p>②緑のアイコンの「表示専用 IPtalk」をダブルクリックして起動します。</p>  | <p>①フォルダーの中に、緑のアイコンの【表示専用】とついた IPtalk が入っています。</p>  <p>②「ウイルスソフト」からのメッセージが出た時は、「許可」してください。</p> <p>(以下は、「ウイルスセキュリティ」の画面)</p>  <p>・IPtalk が起動して、自動的にページを次々開いて行き、必要ないページやボタンなどを消して行きます。しばらくすると、以下のような画面になって、「<b>WebConnect を起動しますか？ (「いいえ」は VPN、または、LAN)</b>」とメッセージが出ます。</p>  |

②「はい」のボタンを押します。



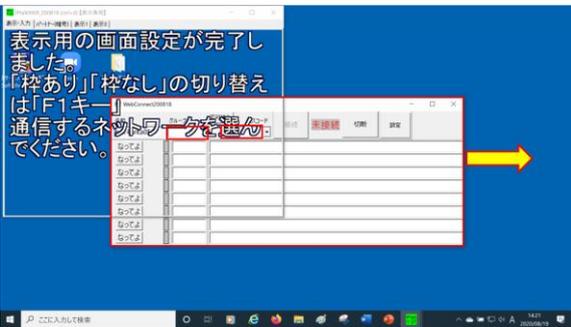
②「WebConnect」ウィンドウが開きます。



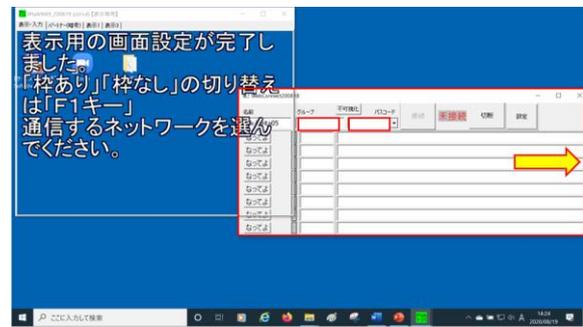
3 【接続】

①教えてもらった「グループ名」と「パスワード(入力者)」を「WebConnect」ウィンドウに入力するのですが、透明の「表示部」の下になっているので入力できません。

・「表示部」は常に最前面、他のウィンドウの上に出ている設定になっているため、「WebConnect」ウィンドウを右に移動します。

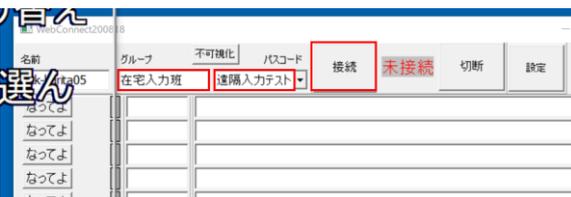


①「WebConnect」ウィンドウを右に移動させました。「グループ」枠、「パスワード(入力者)」枠と「接続」ボタンを操作できるように配置してください。

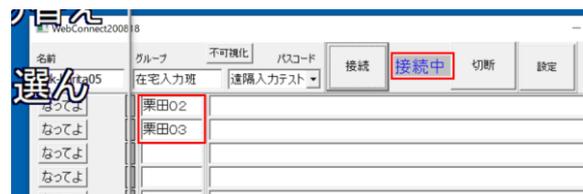


②教えてもらった「グループ名」と「パスワード(入力者)」を入力して、「接続」ボタンを押します。

下図の例では、「グループ名」に「在宅入力班」、「パスワード」に「遠隔入力テスト」と入力しています。



②「未接続」が「接続中」に変わり、「WebConnect」に接続している入力者の名前が表示されます。

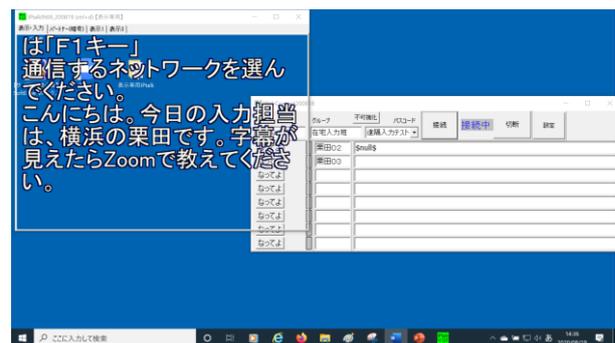


★これで準備完了です。

・入力者が何か入力すると表示されます。

【注意】

「WebConnect」ウィンドウは最小化しても構いませんが、「×」で閉じると字幕を表示しなくなります。



【ヒント】

ウィンドウの大きさ・位置などの設定は自動的に保存されて、次に起動した時に同じ設定になります。

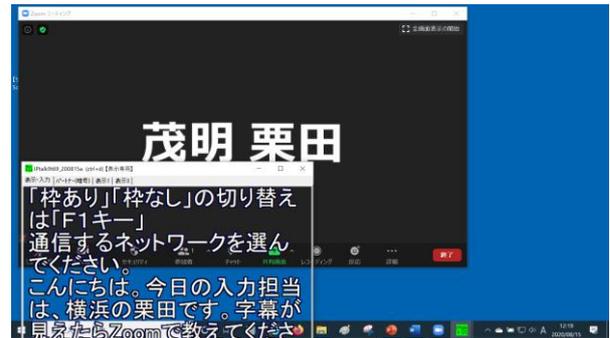
【ポイント】

繰り返しになりますが、透明な「表示部」の下に見えるアイコンやウィンドウはマウスで操作できません。デスクトップの一番にある Windows のタスクバーも、透明な「表示部」の下になった時は、操作できない事に注意してください。

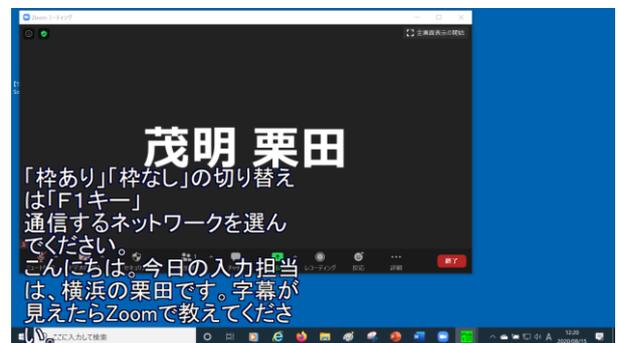
【ヒント】

「メイン」ウィンドウを見易い大きさ・位置に調整してください。

・下図は、Zoom に重ねて配置した例です。



・「F1 キー」を押すと「枠なし」画面にできます。

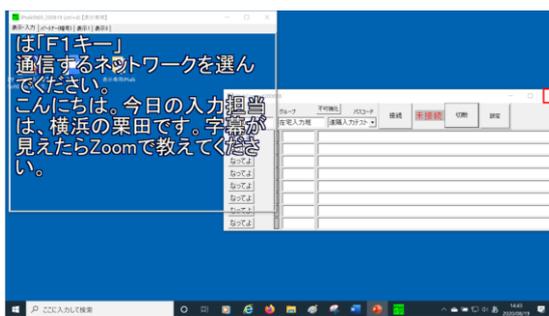


3 【終了】

①「WebConnect」ウィンドウの「切断」ボタンを押します。



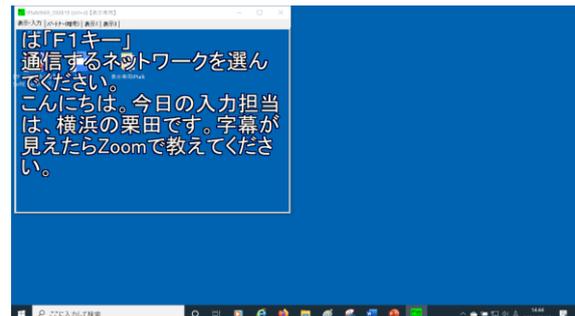
②「WebConnect」ウィンドウの「×」をクリックします。（「×」がデスクトップの外に出て、表示されていない時は、ウィンドウを移動させてください。）



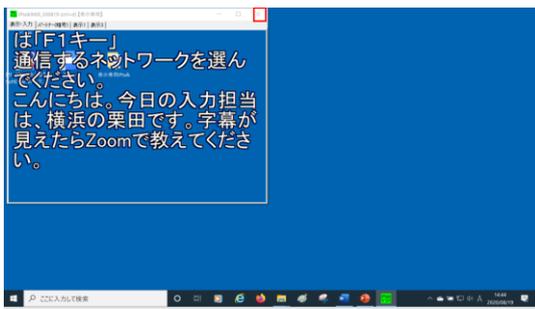
①「接続中」が「未接続」に変わり、入力者の一覧が消えます。



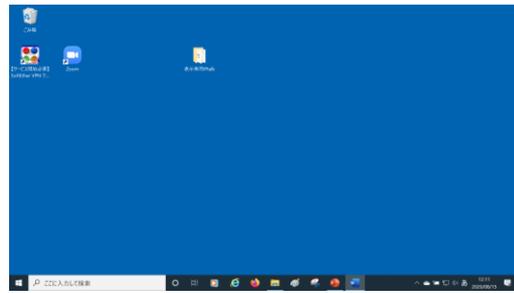
②「WebConnect」ウィンドウが閉じます。



③IPtalk の「メイン」ウィンドウの「×」をクリックします。



③IPtalk の「メイン」ウィンドウが閉じます。



おわりです。

**【ヒント】**

「WebConnect」ウィンドウを「接続中」のまま、IPtalk の「メイン」ウィンドウの「×」で終了しても問題ありません。

・その時は、「WebConnect を先に終了します。」とメッセージが出るので、「はい」ボタンを押してください。

おわり

## 「表示専用 IPtalk」で見る (VPN接続)

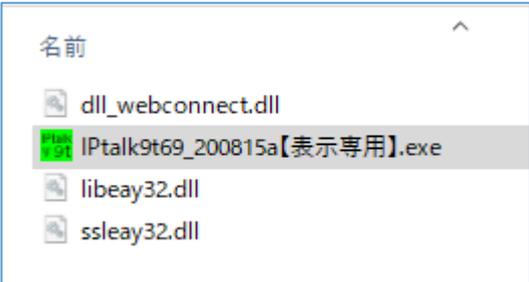
200815

・IPtalk のフォルダーは、デスクトップに置いてください。

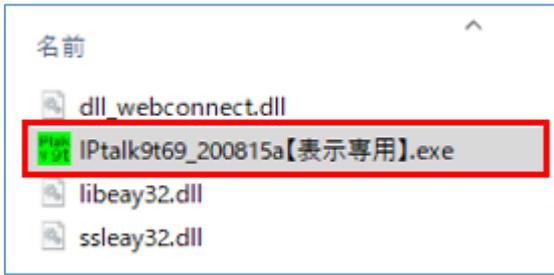
### 【事前準備】

・VPN ソフト(PacketiX、または、SoftEther)をインストールして、仮想 HUB の接続設定をしておいてください。

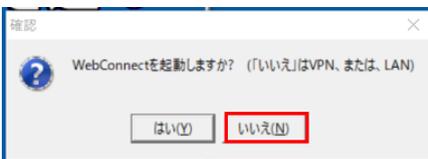
以下の説明では、「SoftEther」を例に説明します。「PacketiX」の操作も同じなので、「SoftEther」を「PacketiX」に読み替えてください。

| No | 操作  | 反応  |
|----|---|---|
| 1  | <p><b>【VPN 接続】</b></p> <p>①「SoftEther VPN クライアント接続マネージャー」のアイコンをダブルクリックして起動します。</p>  <p>②接続する「仮想 HUB」をダブルクリックします。</p>  | <p>①「SoftEther VPN クライアント接続マネージャー」が起動します。</p>  <p>③「オフライン」の表示が「接続完了」になります。</p>  <p>★これで VPN 接続は完了です。</p> |
| 2  | <p><b>【起動】</b></p> <p>①デスクトップの「表示専用 IPtalk」のフォルダーを開きます。</p>    | <p>①フォルダーの中に、緑のアイコンの「【表示専用】」とついた IPtalk が入っています。</p>    |

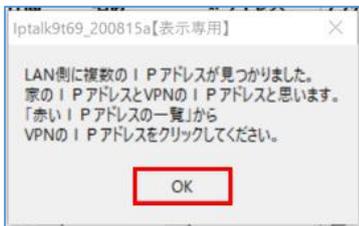
②緑のアイコンの「表示専用 IPtalk」をダブルクリックして起動します。



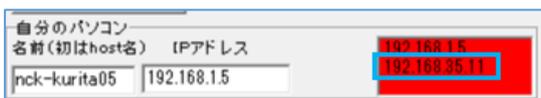
②「いいえ」のボタンを押します。



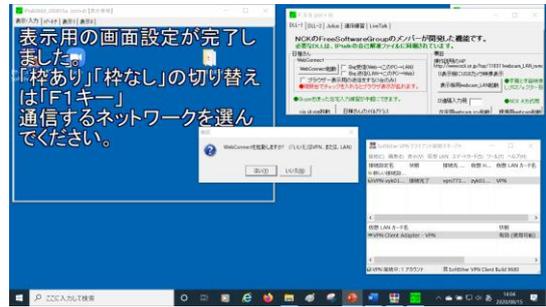
③「メッセージ」ウィンドウの「OK」ボタンを押します。



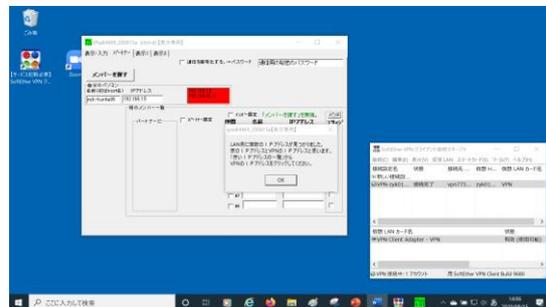
④「自分のパソコン」枠の赤表示されているIPアドレスの中から「VPN接続」のIPアドレスをクリックします。



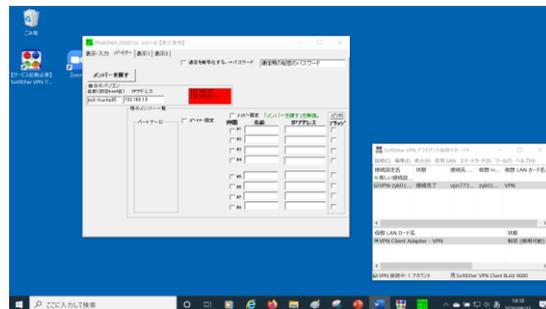
②IPtalk が起動して、自動的にページを次々開いて行き、必要ないページやボタンなどを消して行きます。しばらくすると、以下のような画面になって、「WebConnect を起動しますか? (「いいえ」は VPN、または、LAN)」とメッセージが出ます。



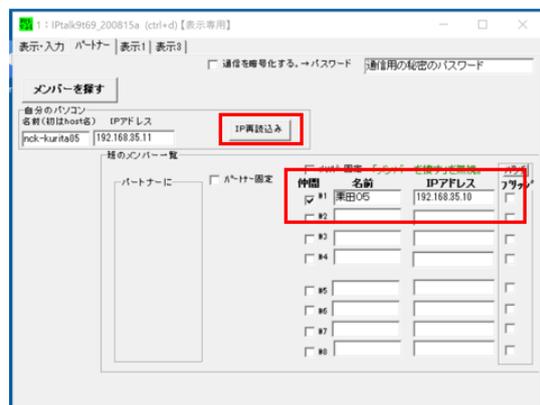
②「パートナー」ページが開き、「メッセージ」ウィンドウが開きます。



③「メッセージ」ウィンドウが閉じます。



④赤表示が消えて、「班のメンバー一覧」に入力者の名前が表示されます。



★これで準備完了です。

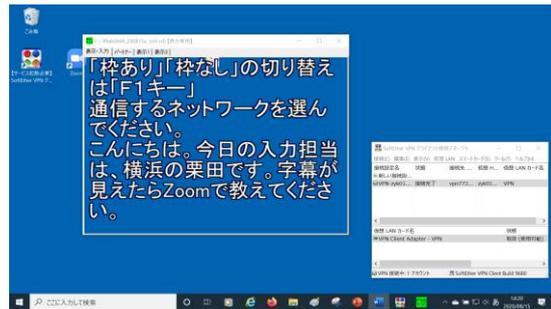
【ポイント】

透明な「表示部」の下に見えているアイコンやウィンドウはマウスで操作できません。

デスクトップの一番にある Windows のタスクバーも、透明な「表示部」の下になった時は、操作できない事に注意してください。

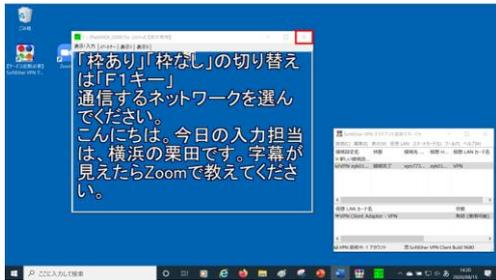
。

・入力者が何か入力すると「表示・入力」ページに表示されます。



3 【終了】

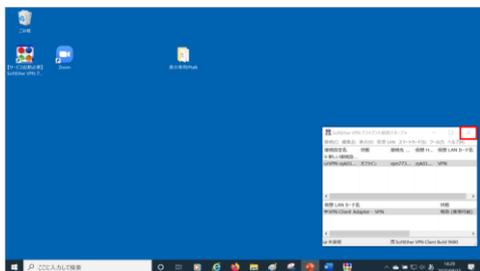
①IPtalk を「×」で終了します。



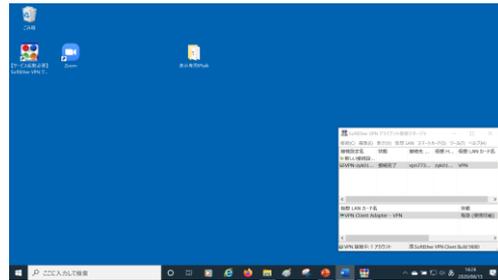
②「SoftEther VPN クライアント接続マネージャー」ウィンドウで接続している仮想 HUB の行を右クリックして表示されたメニューの「切断」を選択します。



③「SoftEther VPN クライアント接続マネージャー」ウィンドウの「×」をクリックします。



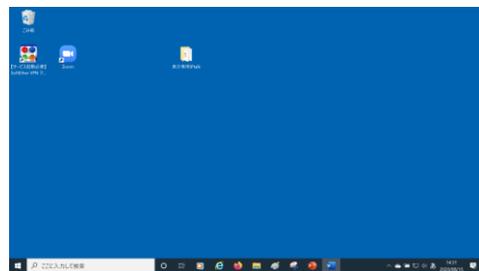
①IPtalk のウィンドウが閉じます。



②「接続完了」が「オフライン」になります。



③「SoftEther VPN クライアント接続マネージャー」ウィンドウが閉じます。



おわりです。

おわり

## 【目次に戻る】

2) 入力者が、ブラウザで閲覧する利用者に伝える情報とは

200815

### 入力者が、ブラウザで閲覧する利用者に伝える情報とは

- ・「web 表示担当」が「パスワード(利用者)」を設定して利用者に伝えます。  
「Web 表示担当」とは、「表示機」の役目で、入力班で1人のみが担当します。  
2人が「Web 表示担当」になると表示が二重になるので注意してください。

2-1) 「WebConnect」ホームページの URL と「パスワード(利用者)」を伝える。

★この方法は、パソコンで閲覧する場合に適しています。

- ・「WebConnect」ホームページの URL は、以下で固定です。

<https://soranoao.com:8082/>

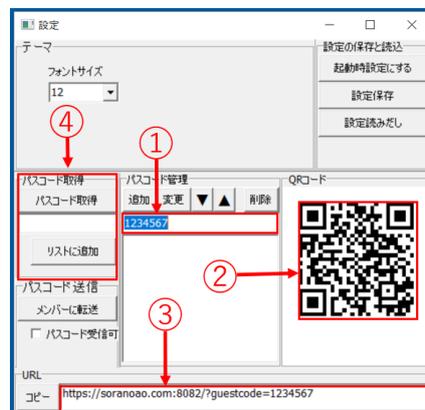
- ・「パスワード(利用者)」は、「WebConnect」ウィンドウの以下の枠に入力した任意の文字列になります。  
入力枠は「FSG」ウィンドウの「ブラウザ表示用の送信をする(1台のみ)」チェックを入れると現れます。



2-2) 「パスワード(利用者)付き URL」を伝える。

★この方法は、スマホで閲覧する場合に適しています。

「WebConnect」ウィンドウの「設定」ボタンを押すと「設定ウィンドウ」が現れます。



①「パスワード入力」枠に、「パスワード(利用者)」を入力すると②QRコードと③「パスワード付き URL」が表示されます。

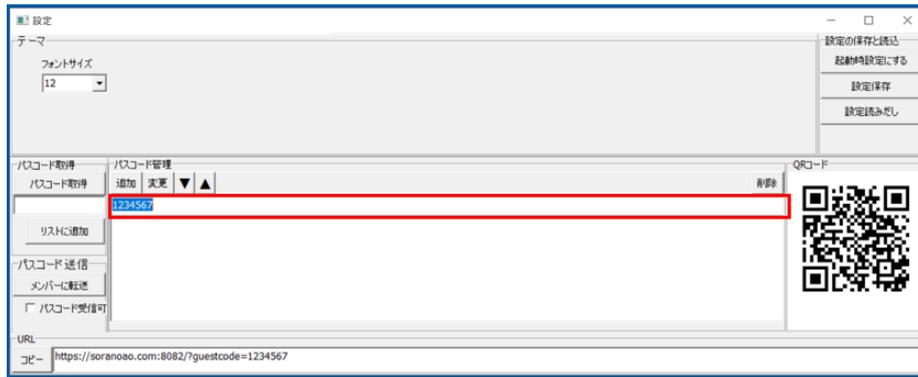
「パスワード付き URL」をコピーして、メールなどで伝えます。

④「パスワード取得」枠を使うと乱数で7桁の数字を発生することができます。パスワードは毎回変更すると良いと思います。

【ヒント】

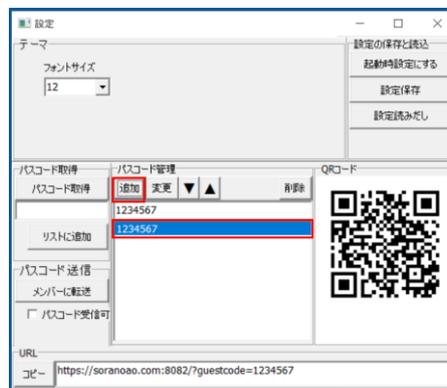
「パスコード」は、全角、半角英数で、文字数制限はありません。

「設定」ウィンドウを横に広げると「パスコード入力」枠が広がります。



【ヒント】

「追加」ボタンを押すと、「パスコード一覧」に追加されて、



「①パスコード(入力者)」と「②パスコード(利用者)」のプルダウンメニューに出て来るようになります。



## 「WebConnect」ウィンドウの使い方 (入力者用)

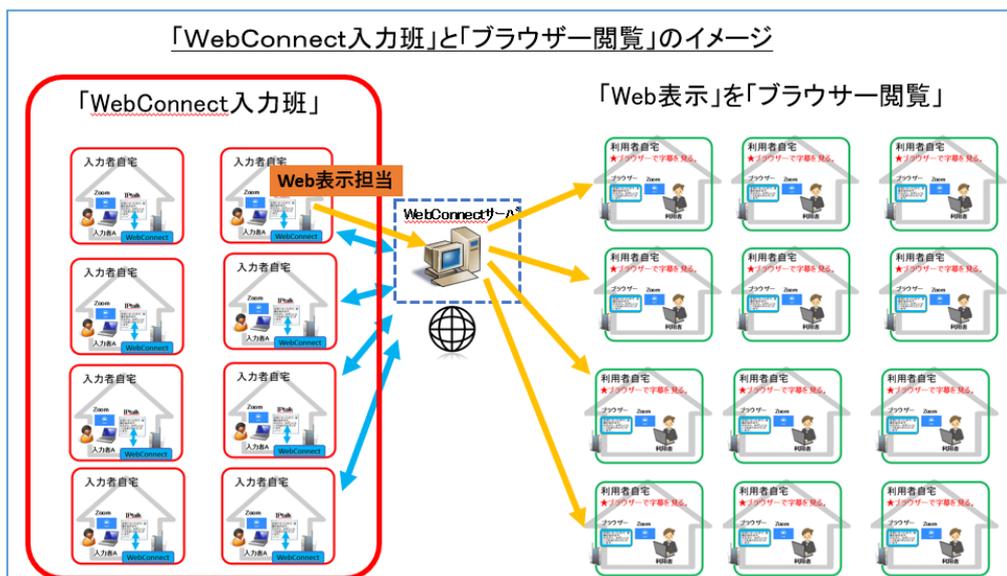
- ・「FSG」ウィンドウの「DLL-1」ページの「WebConnect」起動ボタンを押すと「WebConnect」ウィンドウが開きます。
  - ・「グループ」名と「パスコード(入力者)」を入力して「接続」ボタンを押し、「未接続」が「接続中」となれば、「WebConnect」接続完了で、IPtalk の機能を LAN 接続と同じに使うことができます。
  - ・「名前」の前の口が赤枠になっているのが「web 表示担当」です。(下図では「栗田02」)
- IPtalk を日頃から使っている人なら、実際に試してみればすぐに理解できると思います。



- ・LAN 接続と異なるところがいくつかありますが、大きな違いは「パートナー」ページです。「メイン」ウィンドウの「パートナー」ページは、「WebConnect 接続」しても、「LAN 接続」、「VPN 接続」側の入力班用として動作します。(詳細は、「ブリッジ機能」を参照してください。)
- 「WebConnect」ウィンドウが、「WebConnect 接続」側の入力班の「パートナー」ページの機能を持っています。(この辺りの動作は、「ViaSkype」と同じです。)

### 【入力班について】

最初に戸惑うのは、「入力班」への入り方だろうと思います。  
「WebConnect 入力班」は、「グループ」名と「パスコード(入力班)」の組み合わせで決まります。  
完全に一致した人だけが「WebConnect」ウィンドウの「8 人モニター」に表示され、入力と表示を共有します。  
入力班に入ってしまうと、IPtalk はいつもと同じに使えます。



## 【「Web 表示」の開始方法と停止方法】

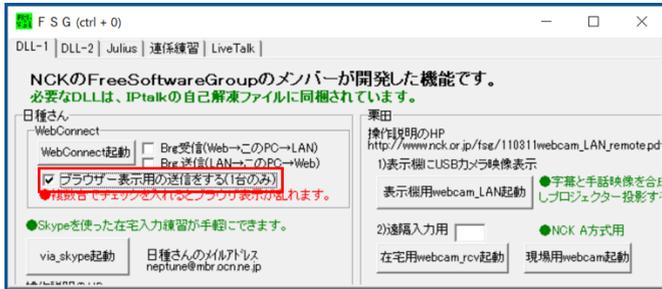
・「WebConnect 入力班」の中の一人が「Web 表示担当」になります。

「Web 表示担当」は、Web 表示を閲覧可能にするために、次の 2 つの手順が必要です。

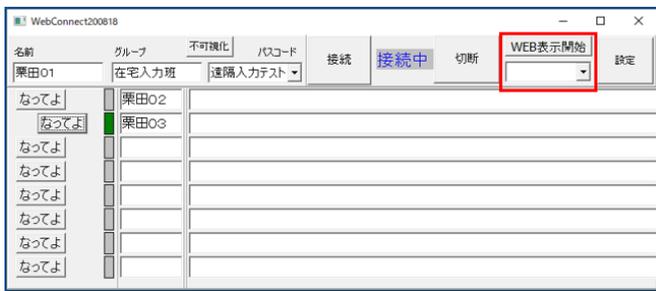
①「FSG」ウィンドウの「ブラウザー表示用の送信をする(1 台のみ)」チェックを入れます。

複数の人がチェックを入れると、表示が乱れるので注意してください。

チェックを入れるのは、「表示機」の役目をする IPtalk と考えてください。



チェックを入れると「WebConnect」ウィンドウに「Web 表示開始」ボタンと「パスワード(利用者)」枠が現れます。



②「パスワード(利用者)」に任意の文字を入れ、「Web 表示開始」ボタンを押すと、ボタンの文字が青色に変わり、「Web 表示」を開始します。



③「Web 表示」を停止する時は、「FSG」ウィンドウの「ブラウザー表示用の送信をする」チェックを外してください。

## 【ヒント】

この「パスワード(利用者)」は、「入力班」の「パスワード(入力者)」とは全く独立しています。

・同じ入力班の異なる IPtalk で、異なる「パスワード(利用者)」を同時に設定して「Web 表示」させることも可能です。(ただし、表示は同じだから意味は無いと思いますが。)

・異なる入力班が、同じ「パスワード(利用者)」を設定することも可能です。(表示が乱れます。)

つまり、「パスワード(利用者)」の設定は非常に重要です。

**【Web 表示の機能について】**

「Web 表示」の表示機能は、「表示部」のサブセット(機能限定版)ですが、通常の字幕表示に必要な機能、「スムーズスクロール」「空行のみ改行」「文字色表示」や訂正機能の「Undo キー(F9)」「Del キー(F11)」「Clr キー(Shift+F11)」、「訂正送信」など実用的な機能を持っています。

「カラオケ」などの特殊な表示には対応していません。必要な時は、「表示専用 IPtalk」の使用を検討してください。

**【Web 表示の「送」ボタン修正について】**

「送」ボタン修正をする時、「ワープロ画面」での修正がリアルタイムで Web 表示に反映されます。(この動作は面白いので試してみると良いと思います。)

他の入力者の「表示部」には送信されていないので、最後に「送」ボタンを押すことを忘れないでください。

**【お願い】**

・「WebConnect」は、在宅 Zoom 会議の情報保障のために、この 2 か月くらいで緊急に作りました。公開することを優先したのと、今後も改良していく予定なので、入力者向けの詳しい説明書は作りませんでした。説明が不足のところは、あれこれ試してみてください。

9 月に Zoom の研修会を予定しているので参加してください。

今後の改良予定としては、Zoom 字幕や Youtube 字幕との連携なども検討しています。

・動作がおかしい時はメールしてください。

こちらの環境で不具合の再現ができるように、ネットワーク環境や操作手順を詳しく書いてもらえるとありがたいです。表示の不具合は、スクリーンショットがあると助かります。

**【連絡先】** iptalk\_\_speech2text@yahoo. co. jp(栗田)

[【目次に戻る】](#)

#### 4) 補足説明

[4-1\) ブリッジ機能について](#)

[4-2\) 「WebConnect」通信と「ブリッジ機能」の一覧](#)

[4-3\) 「表示専用IPtalk」の表示設定の初期値](#)

[4-4\) 「VPN 接続」と「ブラウザ閲覧」「表示専用 IPtalk」の利用イメージ](#)

[【目次に戻る】](#) [【4\)補足説明】](#)

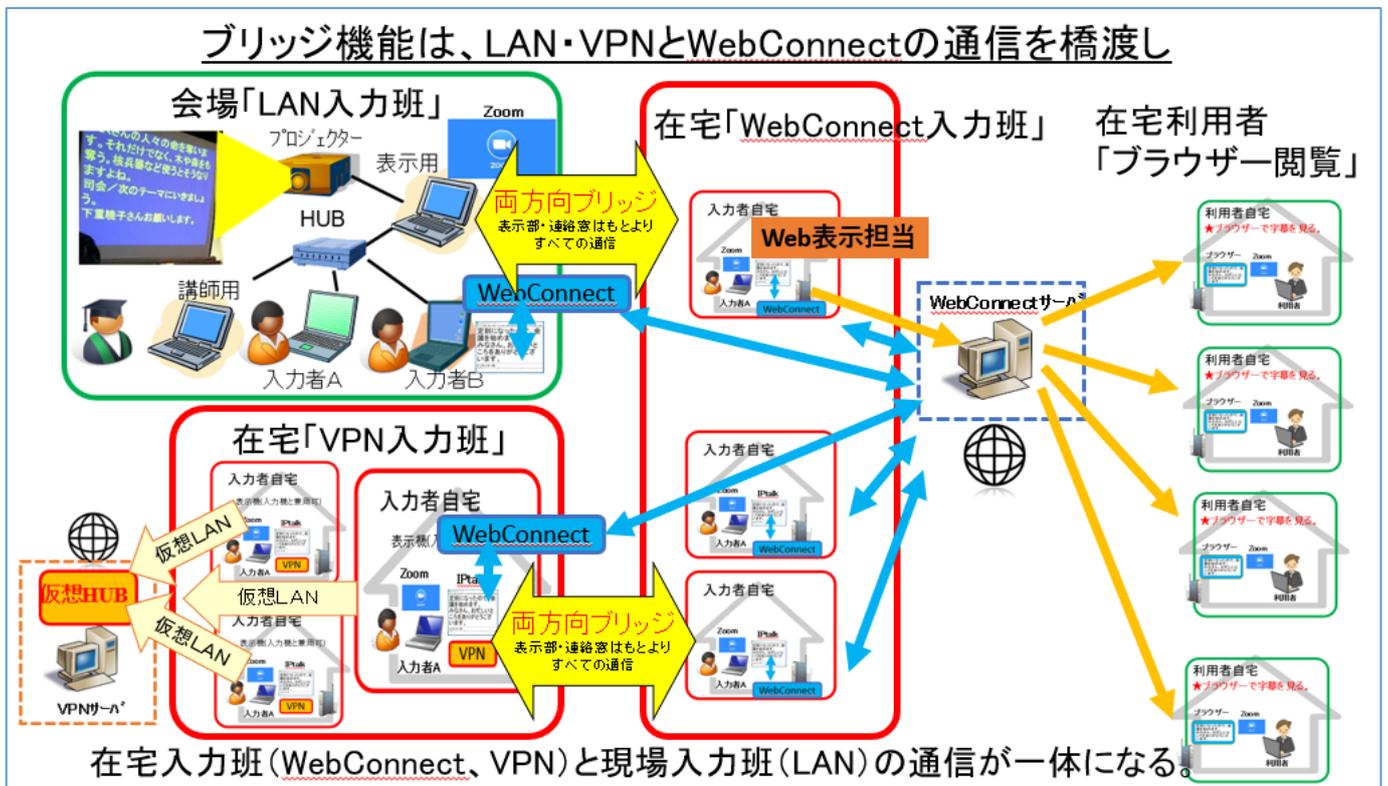
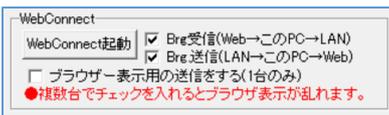
#### 4-1) ブリッジ機能について

200816

## ブリッジ機能について

ブリッジ機能を使うと、会場の入力班と在宅入力班が一体となって入力・表示ができます。

「FSG」ウィンドウの「Brg 受信」「Brg 送信」チェックを入れてください。



#### 【注意】

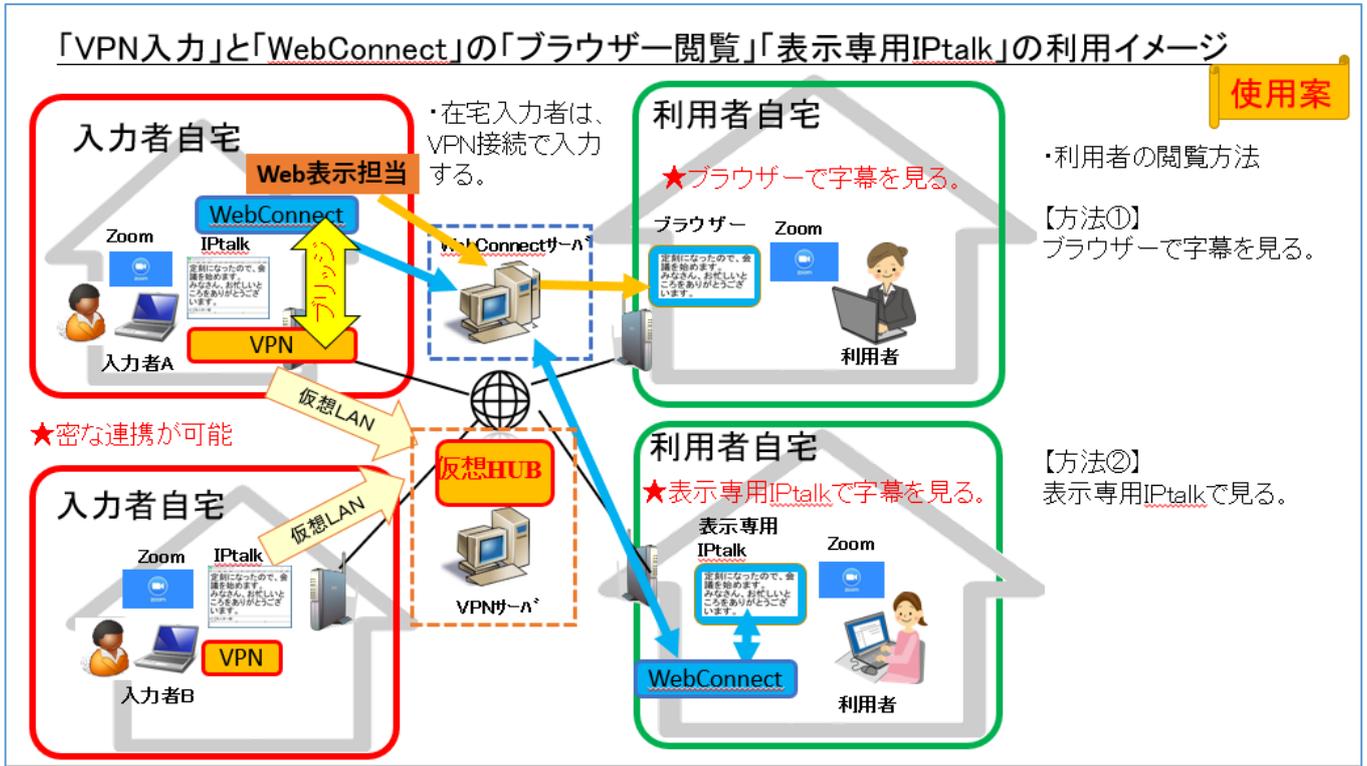
それぞれの入力班で、「ブリッジ機能」のチェックを入れるのは必ず 1 人のみにしてください。

同じ入力班の2人が同時にチェックを入れると通信がループして、同じ表示が無限に流れ続けます。

【利用案①】

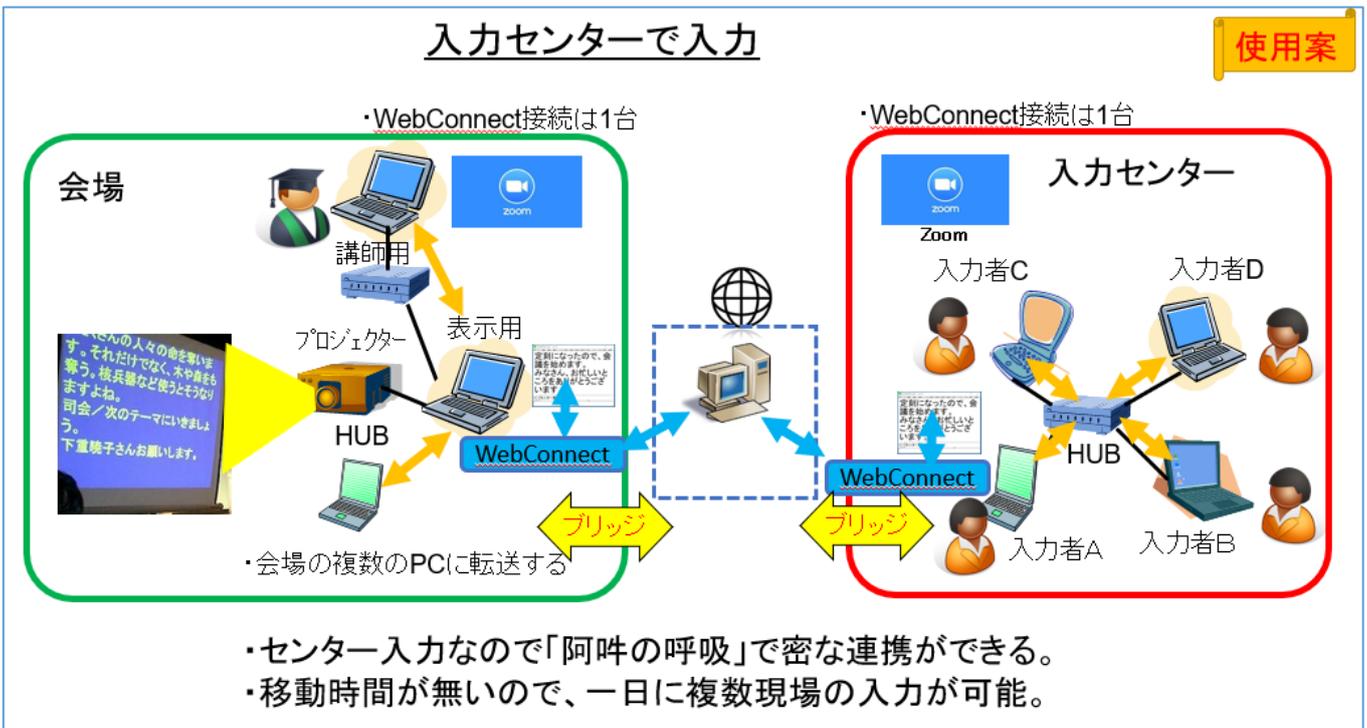
「VPN 入力班」の字幕を手軽な「ブラウザー閲覧」する運用が考えられます。

また、利用者が VPN ソフトをインストールしていなくても「表示専用 IPTalk」で字幕を閲覧できます。



【利用案②】

入力センターでの遠隔入力と考えられます。

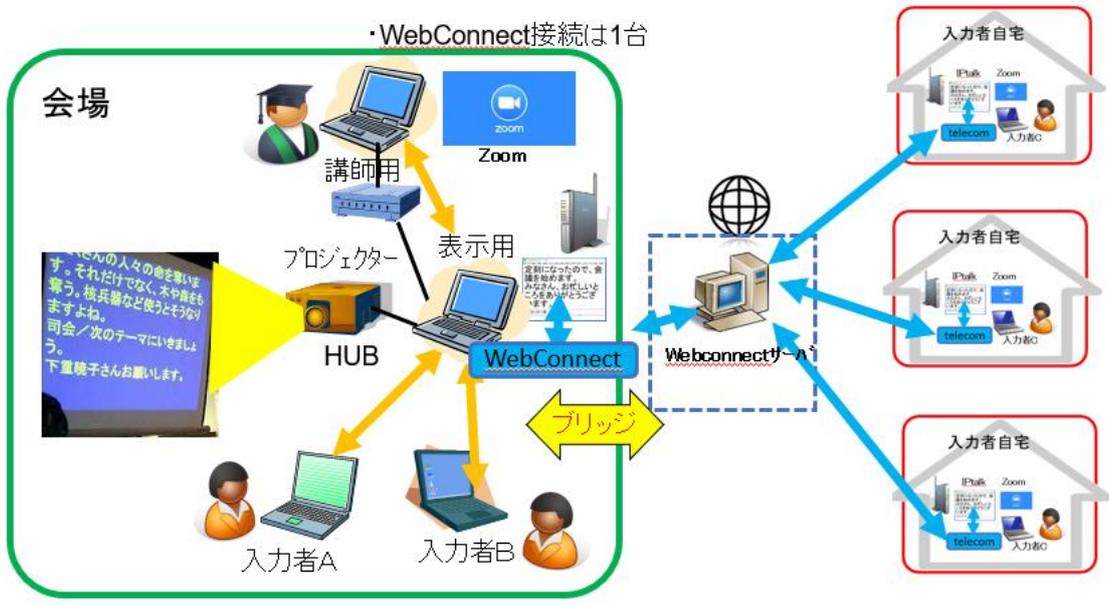


【利用案③】

会場入力者の不足を在宅入力者が補う運用が考えられます。

会場の入力者と在宅入力者が協力

使用案



会場の入力者不足に対応

## 「WebConnect」通信と「ブリッジ機能」の一覧

・「WebConnect 接続」で IPtalk のほぼ全機能を使えます。

・先頭の 4 桁数字は、LAN 通信時の UDP ポート番号です。

「ブリッジ転送」は、「Brg 受信(Web→この PC→LAN)」チェックと「Brg 送信(LAN→この PC→Web)」チェックが必要です。

### 「WebConnect」通信と「ブリッジ機能」の一覧

#### 【全員宛での送信】

WebConnect 班に送受信可  
LAN側と両方向のブリッジ転送あり

6711 表示部  
6713 「送」ボタン修正  
6723 Undo,del,clrキー  
6727 連絡窓  
6731 テロップ(「お知らせ」ウインドウ)  
6740 原稿前ロールの連動  
6752 表示エコーバック  
6739 「訂正送信」ウインドウ  
6736 「ルビ送信」ウインドウ  
6734 テンプレート前ロールモニター(上段)※  
6735 テンプレート前ロールモニター(下段) ※  
6720 テンプレート前ロールの行連動の通信  
6733 「スライド前ロール」ウインドウ  
6733 「スライド送信専用」ウインドウ  
6733 「定型スライド前ロール」ウインドウ  
6730 確認修正パレット パレットへ送信  
6732 確認修正パレット モニター  
6717 確認修正パレット パレット連動 ※「班全員に送信」チェック時

#### 【パートナー宛での送信】

WebConnect 班に送受信可  
ブリッジ転送なし

6712 モニター部  
6712 8人モニター  
6712 「設定送信」ウインドウ  
6728 「カラオケ」ウインドウ  
6716 「文字カラオケ」ウインドウ  
6737 「手書き」ウインドウ  
6734 テンプレート前ロールモニター(上段)  
「パートナーのみ」チェック時  
6735 テンプレート前ロールモニター(下段)  
「パートナーのみ」チェック時

#### 【未対応の通信】

- ・「表示機用 webcam.rcv」ウインドウの webカメラの遠隔操作の通信
- ・「インターネット」ウインドウの VPN遠隔入力用の通信 (8人モニターの遅延時間表示など)

## 「表示専用IPtalk」の表示設定の初期値

「表示専用IPtalk」の表示設定は、IPtalk の初期状態に対して以下の変更を行っています。  
在宅利用者が Zoom 会議の字幕閲覧に使用することを想定しています。

### 「表示専用IPtalk」表示設定の初期値

IPtalkの起動初期値に対して、○印は、チェックを入れ、●印は、チェックを外した。□は値を設定した。

---- 「表示1」 ページ----

- 「表示用」ラジオボタン
- お知らせ (テロップ)を受信しない。
- 空行のみ改行
- 縁取りする
- 「表示部のフォントの色」を「白」指定
- 「表示部の背景色」を「青」指定

---- 「補W1」 ページ----

- 「メッセージ」ウィンドウの常に前面にする
- 文字色・行内画を表示する。

---- 「訂正」 ページ----

- 「訂正送信」表示・送受信する

---- 「表示2」 ページ----

- スクロール速度自動加速
- 「スクロール移動量」を「2」→「4」ドットに変更
- 表示部とテロップを前面にする

#### 【注意】

- ・「ルビを送受信する。」チェックは入っていません。「読みを () で囲って表示」を使ってください。
- ・「カラオケ」はリモコンのon/offボタンで入り切りできます。

---- 「表示3」 ページ----

- 表示部背景色でクロマキーする
- 表示部とテロップを前面にする(表示2と連動)

#### 【入力者にお願い】

- ・表示に関して利用者から要望があった時は、「設定送信」ウィンドウを使って遠隔操作して変更をお願いします。
- 「設定送信」ウィンドウで指定できる全機能が「WebConnect 接続」で有効で、終了時には自動的に設定保存されます。
- 例えば「8人モニター」を遠隔で表示し、ウィンドウの位置を遠隔で調整できます。
- 次に起動する時は、自動的に「8人モニター」が開きます。

#### 【簡単な使い方】

- ①操作するIPtalkとパートナーになる。

「WebConnect 接続」の時は、「WebConnect」ウィンドウでパートナーになります。

「LAN 接続」「VPN 接続」の時、「パートナー」ページでパートナーになります。

- ②「補W1」ページの「設定送信」ボタンを押す。
- ③「設定送信」ウィンドウの「設定送信3」ページの「8人モニター」の「モニター表示」ボタンを押す。  
→「表示専用IPtalk」で「8人モニター」が開きます。

- ・自宅で2台のパソコンを並べて「WebConnect 接続」し、遠隔操作の練習をしてみると良いと思います。

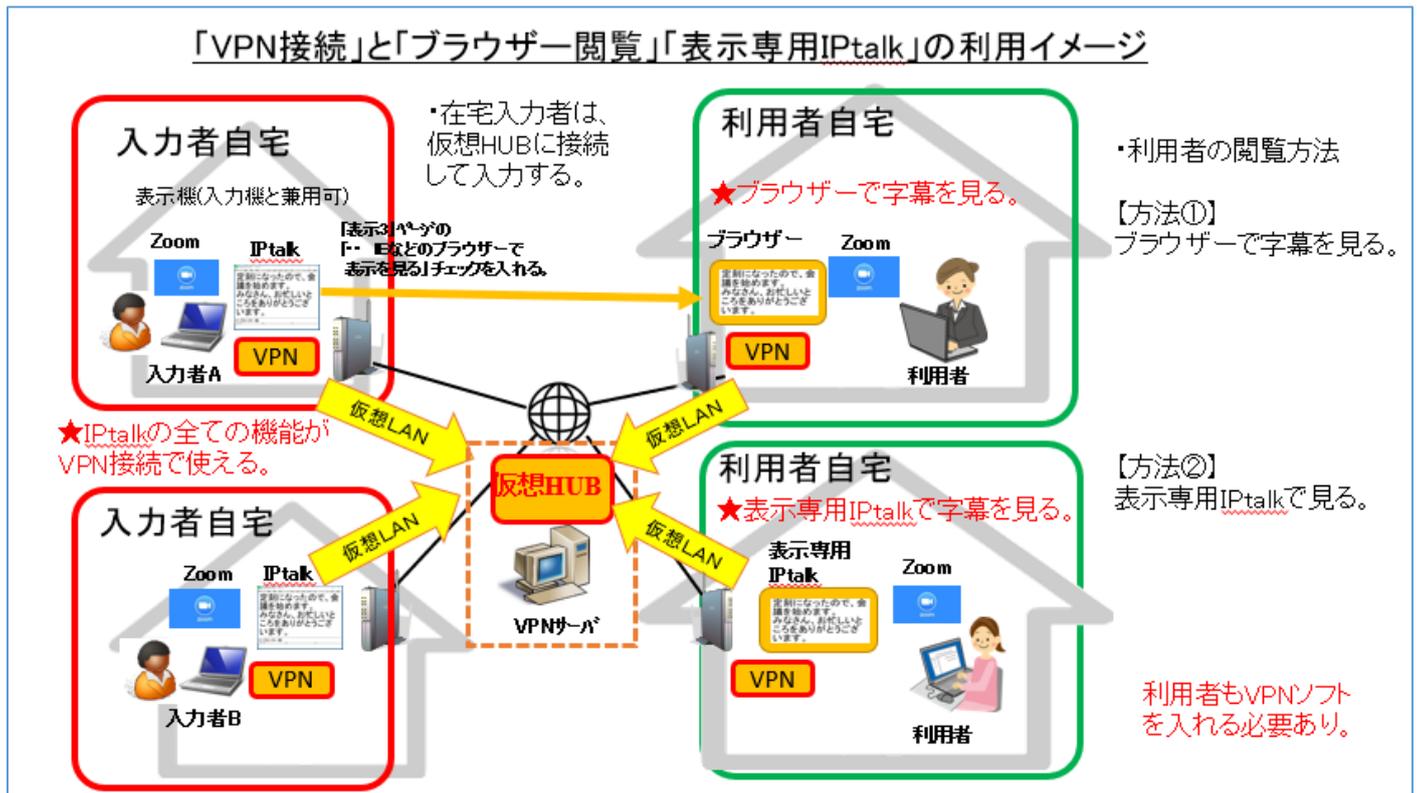
## 「VPN 接続」と「ブラウザー閲覧」「表示専用 IPtalk」の利用イメージ

「VPN」は、「Virtual Private Network」「仮想専用線」という意味で、外部から侵入できない安全性の高い通信です。セキュリティを重視する場合は、「VPN 接続」をお勧めします。ただ、利用者も含めて、全員が VPN ソフト(PacketIX、または、SoftEther)をインストールし、事前に VPN サーバーにユーザー登録する必要があります。

「WebConnect」も、暗号化した「SSL」通信を使用しています。簡単に予想できない長めのパスワードを設定すれば実用的なセキュリティは充分あると考えます。ただ、「2020 年〇〇県難聴協会例会」などという簡単に想像できるパスワードを付けたり、パスワードを会報に掲載したり、同じパスワードを通年で使用したりすれば、情報漏洩の危険は高くなります。「利便性」と「セキュリティ」は相反する要件です。

「利用シーン」や「情報保障の対象」によって、適した方法を選択すると良いと思います。

・「表示専用 IPtalk」は、「WebConnect 接続」だけでなく、「VPN 接続」や「LAN 接続」でも使用できます。また、「VPN 接続」すれば、「表示 3」ページの「ブラウザーで表示を見る」機能も使用できます。



5) 「表示専用 IPtalk」のダウンロードの方法

**「表示専用 IPtalk」のダウンロード方法**

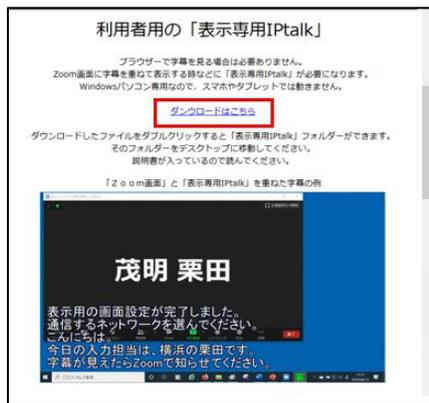
パソコンの操作に自信がない利用者の方は、入力者から手に入れるのが一番簡単です。  
WebConnect で情報保障をする入力者は、利用者用の「表示専用 IPtalk」を必ず持っています。

・以下の URL をクリックすると「WebConnect」のダウンロードページが開きます。

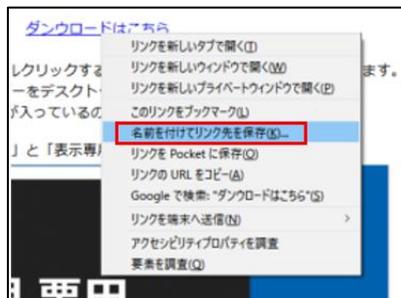
[http://www.s-kurita.net/setsumei/webconnect/200819IPtalk9t69\\_200819\\_proto.html](http://www.s-kurita.net/setsumei/webconnect/200819IPtalk9t69_200819_proto.html)

| No. | 操作   | 反応   |
|-----|--|--|
| 1   | <p>IPtalk をダウンロードします。</p> <p>①ブラウザで以下の URL を開きます。<br/><a href="http://www.s-kurita.net/setsumei/webconnect/200819IPtalk9t69_200819_proto.html">http://www.s-kurita.net/setsumei/webconnect/200819IPtalk9t69_200819_proto.html</a></p> <p>ホームページを下にスクロールすると「利用者用の「表示専用 IPtalk」が出て来ます。</p>  | <p>①「WebConnect」のダウンロードページが開きます。</p>  |

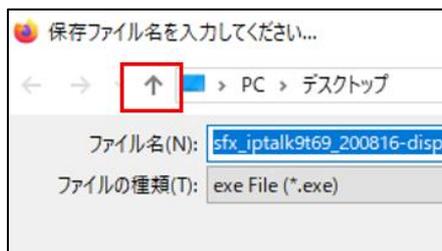
②「ダウンロードはこちら」を右クリックします。



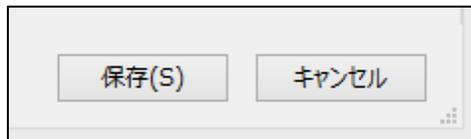
③「名前をつけてリンク先を保存(A)」をクリックします。ブラウザによって文書は異なります。「対象をファイル保存(A)」など。



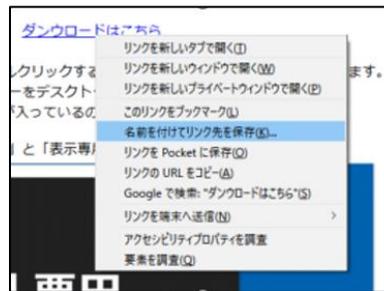
④「↑」ボタン(「上の階層」ボタン)を何度か押して「デスクトップ」を指定します。



⑤右下の「保存(S)」ボタンを押します。

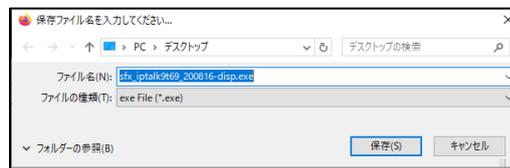


②プルダウンメニューが現れます。

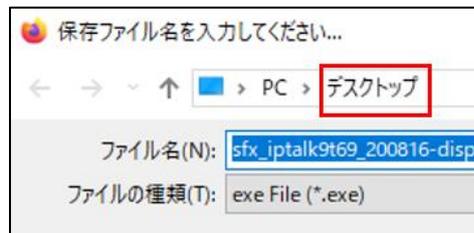


③「保存ファイル名を入力してください。」ウィンドウが現れます。ブラウザによってウィンドウ名は異なります。

「名前を付けて保存」など。



④「デスクトップ」と表示されます。



⑤デスクトップに「sfx iptalk9t69\_200819-disp.exe」ファイルが現れます。



2

・ファイルを解凍します。

①デスクトップの「sfx\_iptalk9t69\_200819-disp.exe」をダブルクリックします。



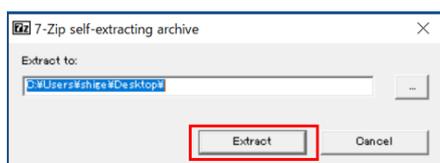
②「詳細情報」をクリックします。



③「実行」ボタンをクリックします。



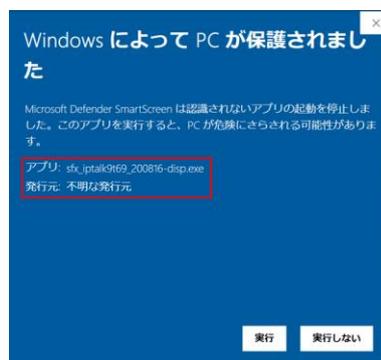
④「Extract」ボタンを押します。



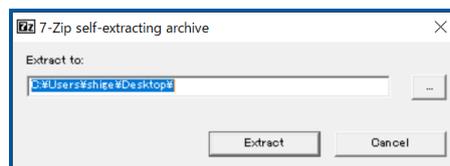
①「Microsoft Defender SmartScreen」の警告メッセージが出ます。



②「アプリ: sfx\_iptalk9t69\_200819-disp.exe」「発行元: 不明な発行元」と表示されます。



③「7-Zip self-extracting archive」ウィンドウが開きます。



④「表示専用 IPtalk」のフォルダーができます。



【ヒント】

「sfx\_iptalk9t69\_200819-disp.exe」は不要なので消してしまって構いません。

|   |  |   |
|---|--|---|
| 3 | <p>・「表示専用 IPtalk」フォルダーの中を確認します。</p> <p>①「表示専用 IPtalk」フォルダーを開きます。</p>  | <p>①5つのファイルが入っています。</p> <p>IPtalk9t69_200819【表示専用】.exe<br/>dll_webconnect.dll<br/>libeay32.dll<br/>ssleay32.dll</p> <p>200820【一般公開】WebConnectと表示専用 IPtalkの使い方.pdf<br/>(日付はバージョンアップで変わる事があります。)</p> <p><b>【ヒント】</b><br/>「IPtalk9t69_200819【表示専用】.exe」をダブルクリックすると「表示専用 IPtalk」が起動します。</p> |
|   | おわり  |   |

**【解説】**

|   |   |
|---|---|
| 1 | <p>IPtalk は、自己解凍ファイルで配布しているので、ダウンロードしたら解凍して、「表示専用 IPtalk」フォルダーを取り出す操作が必要です。</p>   |
| 2 | <p>表示専用 IPtalk は、実行ファイル(IPtalk9t69_200819【表示専用】.exe と3つの dll)のみで動作するため、いわゆる「インストール」はありません。</p> <p>解凍して取り出した「表示専用 IPtalk」フォルダーを、他のパソコンなどにコピーすれば、そのまま動きます。(「パスワード」などが入った設定ファイルを保存するので、他の人に上げる時は注意してください。)</p> |
| 3 | <p>・IPtalk は、「表示専用 IPtalk」フォルダーの中だけで動作しています。</p> <p>パソコンの設定(レジストリなど)をいじったり、どこか分からない所に一時的なファイルを保存することはありません。</p> <p>「表示専用 IPtalk」フォルダーを消してしまえば、パソコンは元通りに戻ります。</p>  |